

2009年度生態工学・定例シンポジウム 「エネルギー・資源循環利用と食物生産工場」のお知らせ

生態工学会では、「エネルギー・資源の循環利用と食物生産工場」をテーマに定例シンポジウムを開催いたします。各分野の最先端の研究成果に加え、実際に植物工場とエビの循環養殖を手掛けておられる第1人者の先生方にご講演をお願いしております。さらに、本学会の大政謙次会長より、世界の施設園芸をリードするオランダのグリーンハウスオートメーションと環境対策について、最新の現地映像も交えてご紹介いただきますので、学会員のみならず多くの方々の参加をお願いします。

◇開催日:2009年11月6日(金)10:00~17:30 情報交換会 17:30~19:30

◇主催:生態工学会

◇会場:東京大学 弥生講堂・一条ホール

◇交通:東京メトロ南北線「東大前」駅下車 徒歩1分

東京メトロ千代田線「根津」駅下車 徒歩8分

◇参加費:シンポジウム:会員3,000円,学生会員1,500円,一般4,000円,一般学生2,000円
情報交換会 :3,500円

◇プログラム(敬称略)

10:00~10:10 開会挨拶 生態工学会 会長 大政謙次(東京大学)

10:10~10:40 閉鎖型生態系実験施設を用いた植物栽培と循環技術の利用
新井竜司(環境科学技術研究所)

10:40~11:10 閉鎖居住実験における食品の自給
小松原修(環境科学技術研究所)

11:10~11:50 宇宙農業と植物の低圧耐性
橋本博文(独立行政法人 宇宙航空研究開発機構)

11:50~13:00 昼 食(1時間10分)

13:00~14:00 バイオ光化学電池を用いた太陽光による物質・エネルギー循環
金子正夫(株)バイオフォトケモニクス研究所取締役所長、茨城大名誉教授)

14:00~15:00 植物工場の新しい可能性について
大山敏雄(株)野菜工房 代表取締役社長)

15:00~15:20 休 憩(20分)

15:20~16:20 緑の革命から青の革命へ「日本初・閉鎖循環式屋内型エビ生産システム」
野原節雄((株)アイ・エム・ティー専務取締役)

16:20~17:20 オランダにおけるグリーンハウスオートメーションと環境対策(追加講演)
大政謙次(東京大学)

17:20~17:30 閉会挨拶 実行委員長 北宅善昭(企画委員会委員長・大阪府大)

17:30~19:30 情報交換会 (東京大学弥生講堂ロビー)

◇お問い合わせ:

実行委員会事務局:電力中央研究所環境ソリューションセンター 寺添 斉(テラゾエヒトシ)
〒270-1194 千葉県我孫子市我孫子 1646
TEL 070-6568-9767 FAX 04-7182-7922
E-mail terazoe@criepi.denken.or.jp

◇詳細:学会 HP(<http://www.see.or.jp/event/2009/20091106.html>) をご覧下さい。

以上